

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年2月末日
中間配当金受領株主確定日	毎年8月31日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人	株式会社アイ・アールジャパン
同連絡先	株式会社アイ・アールジャパン 証券代行業務部 〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 TEL.0120-975-960 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所第一部市場
公告方法	電子公告 当社ホームページ (http://www.ait-jp.com/) に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

ご注意

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（株式会社アイ・アールジャパン）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、株式会社アイ・アールジャパン 証券代行業務部でお支払いいたします。

株主優待制度に関するお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々当社株式を保有していただくことを目的として、昨年度より、株主優待制度を導入いたしました。

対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象といたします。

ホームページのご案内



サービス情報・IR情報など、最新の情報をご覧ください。

エーアイティイー

<http://www.ait-jp.com/>

表紙の風景 | 中国・廈門市

福建省南部に位置し、中国の五大経済特区の一つに指定され、高い経済成長率を誇る廈門市。早くから外に開かれた港町でもあり、なかでも廈門港は、東南沿海における対外貿易の重要な港となっています。また一年を通じ、温暖な気候に恵まれ、観光地としての人気も高く、国際観光都市としても発展を遂げています。



株式会社 エーアイティイー

証券コード：9381

国際物流をデザインするエーアイティイー

第28期 年次報告書

平成26年3月1日～平成27年2月28日

エーアイティー 成長戦略

一貫輸送体制を最大限に活かす



新たな顧客層の開拓

一貫輸送体制の整備により、
様々な物流の提案が可能に。



三国間での輸送サービスの拡大。

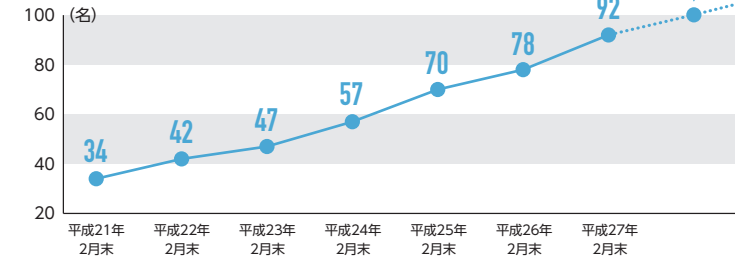
- 海外での物流加工や輸配送機能強化
- 日本を通過しない国際輸送を増加

年間取引先数推移



継続した営業人材の増員・強化

● 営業人員の推移



100名超 体制の構築

- 1 専門性の高い人員の増員
機械や化学品など専門性の高い分野に関する経験や知識のある人材を登用。
- 2 プロ人材の育成に注力
営業スタッフの増員にともない、社内研修の充実でプロ人材を育てる。

通関業務の成長

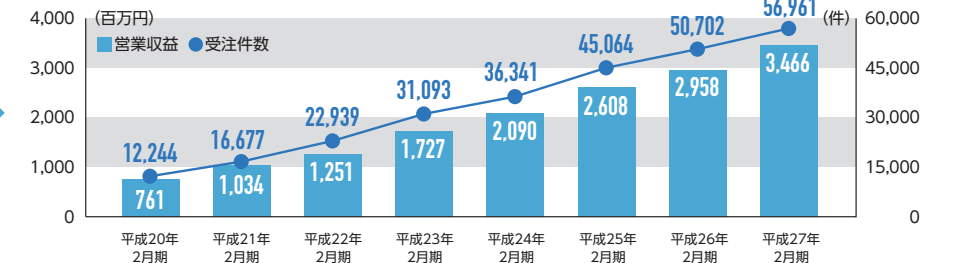
貿易の窓口業務を強化し、一貫輸送体制の要に成長。

営業収益平均成長率

24.5%

2ケタ成長の継続を目指す

● 上場以来の通関業の営業収益および受注件数の推移



事業の拡大

総合物流事業として、多様なニーズに対応する付加価値サービスを提供。

3PL 事業を
新たな柱へ

当社3PL事業の特長

あらゆる業種・業態のニーズに
合わせた最適なプランを提案

営業
収益 300 億円
達成を目指す

それぞれの顧客のニーズに沿った 国際物流の提案型営業を推進。



代表取締役社長
矢倉 英一

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第28期(平成27年2月期)の業績と、次期(平成28年2月期)の見通しについてご報告を申し上げます。

第28期(平成27年2月期)の活動におけるトピックスは？

新規顧客の獲得と、既存顧客を含めた通関受注の拡大に注力。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和と政策を背景に、企業業績や雇用環境に緩やかな改善が見られたものの、消費増税や円安による輸入製品の価格上昇に伴う個人消費の低迷等により、景気回復の動きは鈍く、依然として先行き不透明な状況が続いております。また海外においては、米国経済が堅調を維持した一方で、原油価

格の急落や新興国の経済成長の鈍化などが懸念されております。

このような状況下、当社グループは、継続した営業人員の増員増強により、それぞれの顧客のニーズに沿った国際物流の提案型営業をより一層推進し、新規顧客の獲得に注力するとともに、既存顧客を含めた通関受注の拡大にも精力的に取り組んでまいりました。さらに、日本国内及び中国国内での3PL(サードパーティー・ロジスティクス)案件の獲得にも努めてまいりました。

前述のような環境の中、第1四半期においては、売上総利益率や営業利益率が低調であったものの、第2四半期以降で、仕入コストの削減や販売費及び一般管理費の抑制に取り組んだことにより改善傾向で推移した結果、当連結会計年度における営業収益は21,939百万円(前年同期比14.7%増)、営業利益1,648百万円(前年同期比18.8%増)、経常利益1,687百万円(前年同期比17.8%増)、当期純利益1,026百万円(前年同期比13.5%増)と増収増益を達成することができました。

次期の見通し

次期の見通しにつきまして、わが国の経済は、雇用や所得環境の改善が見込まれ、個人消費の弱さは残しつつも緩やかな回復基調が続くことが期待される一方で、海外経済の下振れリスクや円安、原油価格の変動等による国内景気への影響が懸念され、先行き不透明

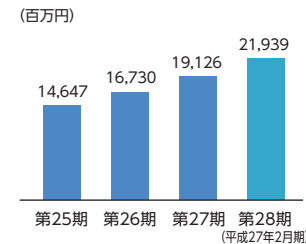
な状況が続くものと思われま。また、当社グループの得意とする日中間での輸入海上輸送におきましては、日本国内の景気回復により物流の活性化が期待される一方で、円安により上昇した物流コストの見直し等を背景に、フォワーダー間の競争激化が予想され、引き続き、予断を許さない環境が続くものと考えております。

このような状況下、当社グループは、継続して営業人員の採用活動に取り組み、国際輸送、通関、国内外での3PLといったトータル的な物流を通じて、コスト低減へと繋がる一貫輸送の提案を更に強化してまいります。さらに、これまでアパレルや日用雑貨を取扱う企業を中心に行ってきた営業活動を他分野にも広げ、更なる取扱高と収益の拡大に努めてまいります。

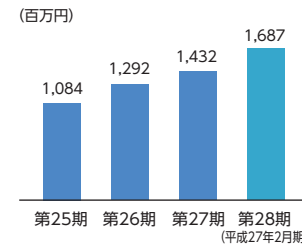
以上の状況を踏まえた上で、次期(平成28年2月期)の通期の連結業績は、以下を見込んでおります。

平成28年2月期 通期業績予想			
営業収益	24,468百万円	前年同期比	+11.5%
営業利益	1,749百万円	前年同期比	+6.2%
経常利益	1,777百万円	前年同期比	+5.3%
当期純利益	1,130百万円	前年同期比	+10.1%

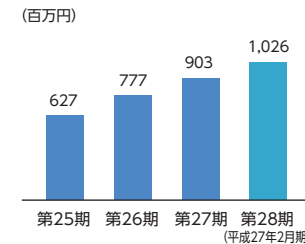
●営業収益



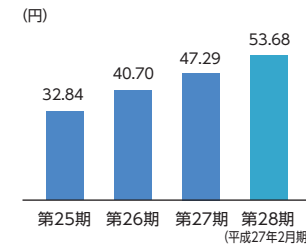
●経常利益



●当期純利益



●1株当たり当期純利益



1株当たり当期純利益

(注)平成25年3月1日付、平成25年11月1日付にて、それぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第25期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末	当期末
	平成26年2月28日現在	平成27年2月28日現在
流動資産	5,121	6,423
固定資産	325	385
資産合計	5,447	6,808
流動負債	1,232	1,732
固定負債	203	269
負債合計	1,436	2,001
純資産合計	4,010	4,807
負債純資産合計	5,447	6,808

POINT

1

当期末の現金及び預金を中心とした流動資産は、前期末より1,301百万円増加した結果、資産合計に占める割合が94.0%から94.3%に上昇しています。

POINT

2

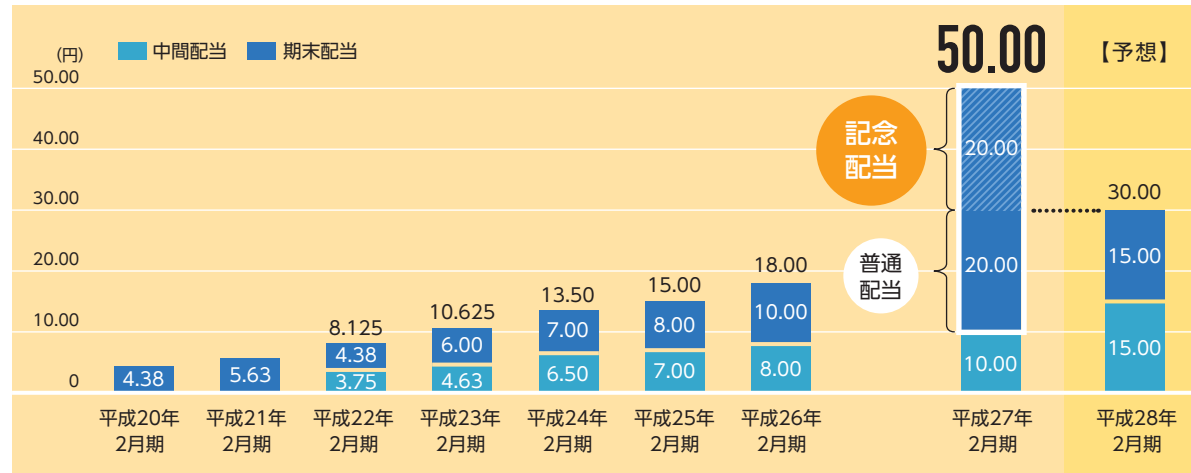
当期末の負債純資産合計において、自己資本比率(少数株主持分勘案後)は、70.4%と高く、引き続き財務の健全性の高い経営状態にあります。

本年度は大幅な増配を行いました。

(平成27年2月期)

当社は、安定的且つ継続的な配当の実施を基本方針とし、株主の皆様への利益還元を充実させるため、平成19年3月の株式上場以来、6期連続して1株当たりの年間配当を増配してまいりました。7期目となる本年度(平成27年2月期)においても、まず中間配当は、前年同期と比較して、1株当たり2円(平成25年11月1日付株式分割勘案後)の増配となる10円で行いました。期末配当では、当社が平成27年2月期をもって創立20周年を迎えたことから、これまでご支援いただきました株主の皆様へ感謝の意を表するとともに、創立20周年を記念いたしまして、1株当たり20円の記念配当を実施させていただくこととなりました。さらに、期末における普通配当も、前年(前年期末は普通配当の

み)と比較し、10円増配の20円といたしました。これにより、平成27年2月期の期末配当は、記念配当20円と普通配当20円を合わせた1株当たり40円といたしました。この結果、年間配当は、普通配当30円と記念配当20円の計50円となり、前年と比較して32円の増配となりました。なお、次年度となる平成28年2月期は、冒頭の基本方針に基づき、中間配当、期末配当共に1株当たり15円の計30円の年間配当を予定しております。今後も、株主の皆様への更なる利益還元の拡充と業績拡大に向け、グループ一丸となり、取り組んでまいります。



(注) 1. 平成22年3月1日付にて1株につき200株、また平成25年3月1日付、平成25年11月1日付にてそれぞれ1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。つきましては、平成26年2月期以前の1株当たりの配当金は、それぞれの株式分割を過年度に遡及して表示しております。
2. 1株当たり年間配当金の棒グラフ内に記載されている金額は、小数点第3位を四捨五入し、表示しております。
3. 平成26年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象に、株主優待を行っております。

株式に関する情報 (平成27年2月28日現在)

発行可能株式総数 53,856,000 株
発行済株式の総数 19,754,400 株
株主数 10,474 名

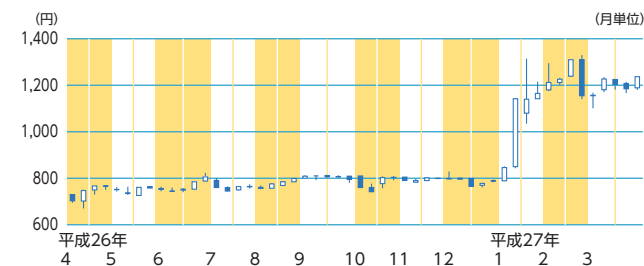
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社エイチアンドワイ	7,139,600	37.35
馬上 真一	973,200	5.09
ビービーエイチ フィデリティ ピューリタン フィデリティ シリーズ イントリンシック オポチュニティズ フアード	773,500	4.04
ビービーエイチ マシユーズ ジャパン フアード	631,300	3.30
波床 知喜	540,000	2.82
矢倉 英一	496,400	2.59
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	427,100	2.23
株式会社ドルフィンズ	412,000	2.15
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224	350,000	1.83
ビービーエイチ グランジャー ピーク インターナショナル オポチュニティズ フアード	339,800	1.77

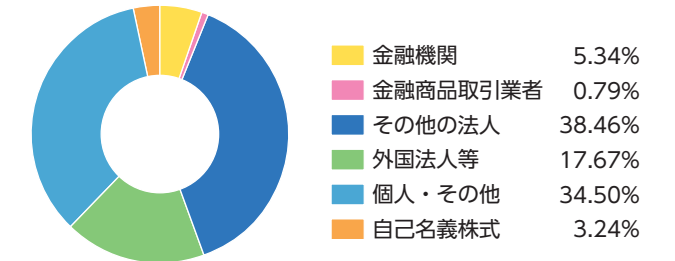
(注1) 上記のほか、自己株式640,768株を保有しております。

(注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株価動向



所有者別株式分布状況 (平成27年2月28日現在)



会社概要 (平成27年2月28日現在)

社名 株式会社エーアイティー
英文社名 AIT CORPORATION
本社 〒541-0053
大阪市中央区本町2丁目1番6号
堺筋本町センタービル15階
TEL.06-6260-3450(代表)

設立 昭和63年2月
資本金 271,140,311円
従業員数 531名(連結)、272名(単体)
事業内容 貨物利用運送事業(外航海運)、貨物利用運送事業(国際航空貨物)、航空運送代理店業、通関業、海運仲立業、損害保険代理店業、コンテナその他輸送器具の販売並びに輸出入、上記に付帯関連する一切の事業

取締役及び監査役 (平成27年2月28日現在)

代表取締役社長 矢倉 英一 常勤監査役 清水 洋志
常務取締役 波床 知喜 社外監査役 寺戸 しのぶ
常務取締役 馬上 真一 社外監査役 西島 佳男
取締役 西村 司